

こんにちは

庄内町議会

No.46
9月議会号
27.10.20



余目まつり
相撲大会

町内5つの小学校から
豆力士が集合

- 道の駅化(風車市場)に集中審議 —— 〈補正予算〉 2
- 収入増で基金積み増し —— 〈決算〉 4
- 町政を問う12人の提言 —— 〈一般質問〉 12
- 庄内町初の設置 —— 〈政治倫理審査会〉 17
- より良い町づくりへ提言 —— 〈常任委員会調査報告〉 18

山形県庄内町議会 〒999-7781 庄内町余目字町132-1 ☎0234(42)0188 編集/庄内町議会広報常任委員会
Eメールアドレス gikai@town.shonai.lg.jp 印刷 富士印刷株式会社

生声ひろば

庄内町立図書館

インタビュー記事

ジュニア学芸員の活動で

図書館の新たな活用拡大に期待する

町立図書館事業の一環として、第9回を迎えた「絵本はともだち事業」(つちだよしはる絵本原画展)が開催されました。平成27年度は、余目中学校美術部の皆さんが「ジュニア学芸員」として活躍したので、伊藤早希さんからその感想を聞きました。



Q ジュニア学芸員に応募したきっかけは。
A 土田義晴さんの絵本原画展を見て興味があったので美術部の仲間とともに応募しました。

Q 土田先生を取材した感想は。
A 最初は緊張して話せませんでした。取材を進めていくうちにいろいろな話をお聞きすることができ、よい機会をいただいたと思います。土田先生から話題を持ちかけてもらい、場を和ませてもらったので、字をきれいに、ふりがなも付け



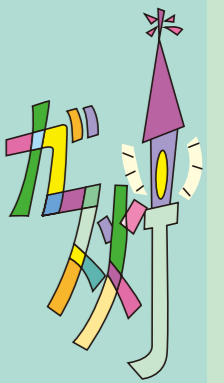
土田先生もニッコリ

Q パネル作成をして大変だったことは。
A 幼い子も見に来るので、きれいに、ふりがなも付けて描きました。
Q 発表会は上手にできましたか。
A 緊張しましたが、会場の人を見て発表しました。土田先生にも来ていただき嬉しかったです。



チョット緊張、でも楽しくて描きました。

また、絵を描く時に、なるべく土田さんの絵に似せて描くのが大変でした。
Q 発表会は上手にできましたか。
A 緊張しましたが、会場の人を見て発表しました。土田先生にも来ていただき嬉しかったです。



安全保障関連法が9月19日未明、参議院本会議で可決成立した。この法案は5月に閣議決定されて以来、各政党がそれぞれの考えを国会の場で議論してきたが、一向に交わることなく採決に至った。国民の代表である国会議員の乱闘まがいの姿をじかにテレビで見ると、ますます政治離れを助長するのではと危惧する。

国会議員は国の進むべき道を論議し、その結果は選挙で審判を受けることになる。地方議員も行政の監視役と地域の代弁者として、町民から負託を受けて議会に立っていることから、行動、発言に責任を持つべきであると改めて思った。(五十嵐啓二)

安全保障については、各政党とも考えに違いがあり一致点を見出すことは難しいことだが、国民には理解できる説明を行うべきであったと思う。多くの自衛隊員が海外派遣していることを考えると、家族の心痛を察する。

発行人 議長 富樫 透
 議会広報常任委員会 委員長 五十嵐啓二
 副委員長 齋藤 秀紀
 委員 上野 幸美
 委員 澁谷 勇悦
 委員 鎌田 準一
 委員 國分 浩実

補正予算

風車市場道の駅へ ステップアップ

9月定例会は、9月1日から9月14日まで開催され、各会計からの補正予算、条例などを原案どおり可決しました。
一般会計補正予算は、風車市場の道の駅に審議が集中し、予算組み替え動議が出されましたが賛成少数で否決されました。
一般質問では12人の議員が町政全般に町当局の考えを質しました。

4時間にわたる集中審議

予算組み替え動議

小野一晴議員から、道の駅にかかる農業振興費1億793万円を削除した補正予算に組み替

える動議が提出されました。
動議に賛同する議員 五十嵐啓一議員



道の駅、第二ステージへ

工藤 範子議員
上野 幸美議員
賛成討論

「より十分な検討を加えるべき」

動議 賛成議員

五十嵐啓一議員
小野 一晴議員
工藤 範子議員
石川 保議員
上野 幸美議員
賛成少数で否決

審議内容

質問 既存施設を改装して道の駅の認定を目指すものがなぜ、総予算約2億7千万円まで拡大したのか。
回答 国交省酒田河川国道事務所と事前協議

を進めてきたところ、道の駅の整備にはいろいろな機能や設備の付加が必要で、それを積み上げた金額である。今回は、設計委託料に321万円、駐車場整備に9千568万円、電気自動車充電器設置に859万円である。

質問 食堂についてはどうか。
回答 地元のお母さんたちを中心とした地元野菜、田舎料理を考えている。

質問 電気自動車充電器設置は必要か。
回答 充電器設置に伴う国の半額補助が、今年度まで延長されたことと、設置が道の駅認定に有利になると判断した。

質問 独立採算性した時の事業内容をシミュレーションしたのか。
回答 本体の運営経費で約1千900万円の収支である。産直の使用料が売り上げの20%位で食堂が3%位になる。食堂の売り上げは2千300万円を目標としている。

質問 駐車場整備についてはどうか。
回答 国道47号線の荒鋼交差点と、それに隣接する町道が今年度工事が実施される。それに合わせ、駐車場を整備し、より町益を図りたいと考える。

質問 財源はなにか。
回答 今年度本町に配分された過疎債の枠内で収まるようにし、残りは来年度の過疎債を財源とする。

質問 駐車場整備についてはどうか。
回答 国道47号線の荒鋼交差点と、それに隣接する町道が今年度工事が実施される。それに合わせ、駐車場を整備し、より町益を図りたいと考える。

支出は、人件費910万円、光熱水費650万円、保守委託料180万円を想定している。
賛成10反対5で可決

財産の無償譲渡

議案

当該施設は社団法人立川町農業機械公社が国の補助事業を活用して建設した施設です。公社は公益法人であったため、残余財産の帰属者として農協を指定することができなかったため平成16年12月19日の公社の解散に伴い旧立川町が寄附を受けました。その後、農協が指定管理者として運営をしてきましたが、平成27年9月13日に10年間の指定管理期間が満了することを契機として、無償譲渡することになりました。

賛成全員で可決



課題解消で譲渡が決まる 西田カントリー

人事

庄内町情報公開・個人情報保護審査会委員は、平成27年9月30日で任期が満了するので、新たに委員を委嘱するため、提案があり、5人の方が決定しました。

- 肝煎字中前田 瀧 静壽さん
 - 小出新田字村北 齋藤 守さん
 - 狩川字大坪 工藤みつ子さん
 - 余目字館 小野寺 姫さん
 - 余目字下梵天塚 吉田 勝紀さん
- 賛成全員で同意

家族従業者の人権を考慮

所得税法第56条の廃止のための意見書提出を求める請願

請願不採択

請願趣旨

(前文略)
家族の人権を認めない所得税法第56条は廃止すべきと、全国でおよそ400自治体が国に意見書を上げています。また、国連の女性差別撤廃委員会も「所得税法第56条は女性に不利益を与えるのではないかと」異議が出されました。世界の主要国では家族従業者の人格・人権、労働を正當に評価し、その働き分を必要経費に認めています。政府は56条廃止に向けた検討を始めています。

不採択の理由

○所得税法第56条は、あくまでも、所得に関する法律であり、人権に関する法律でない。
○青色申告と白色申告申告で選別できるが全ての人が差別されているとは考えにくい。



明治20年からの法律

平成26年度 決算

3年連続増 自主財源

ふるさと応援寄附金1億2,012万円

将来に向け基金積み増し

貯金1億1,395万円積み立てた。

ふるさと応援寄附金 自主財源増につながる

一般会計

賛成14 反対1 で認定

平成26年度は、地方交付税や県支出金が減少し、地方消費税交付金、国庫支出金は増加しています。自主財源の増加は、ふるさと応援寄附金の伸びが著しくなっています。また、去年に続き、町税未収金（収入未済額）が全税目で減少しているなど徴収努力で税収アップにつながりました。

収入

収入総額は、117億3千167万円の前年度117億1千494万円に比べ1千673万円増額となりました。町税における回収できないお金（不納欠損額）は、前年度より276万円少ない918万円であり、徴収努力がうかがえます。



暑い若者に拍手喝采 夏宵まつり

支出

消防署余目分署の工事費請負額が2億3千357万円、土木費として道路維持費が2億8千665万円、道路新設改良費が2億856万円となり前年度に比べて伸び率が高くなっています。また、貯金（財政調整基金）に1億1千395万円を積み立て、将来に備えました。

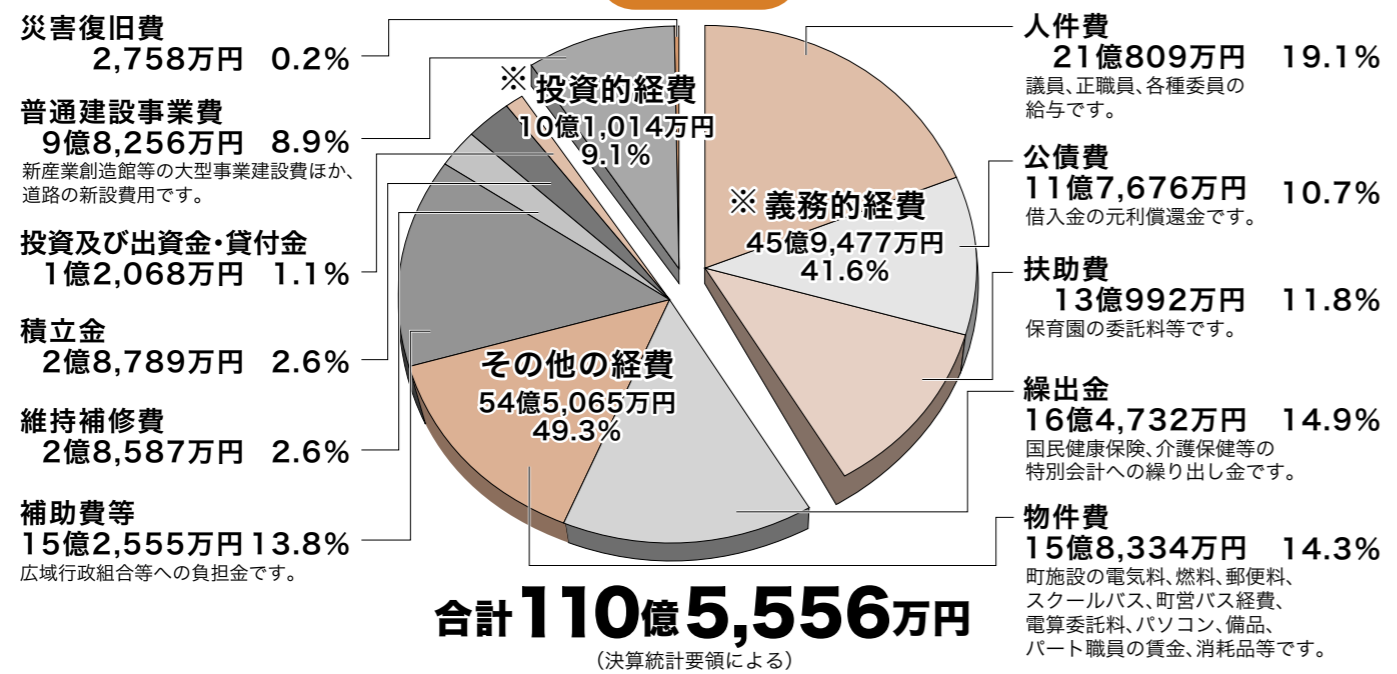
特別会計

簡易水道事業、農業集落排水事業、下水道事業は、賛成14 反対1で認定し、その他の特別会計は、賛成全員で認定しました。

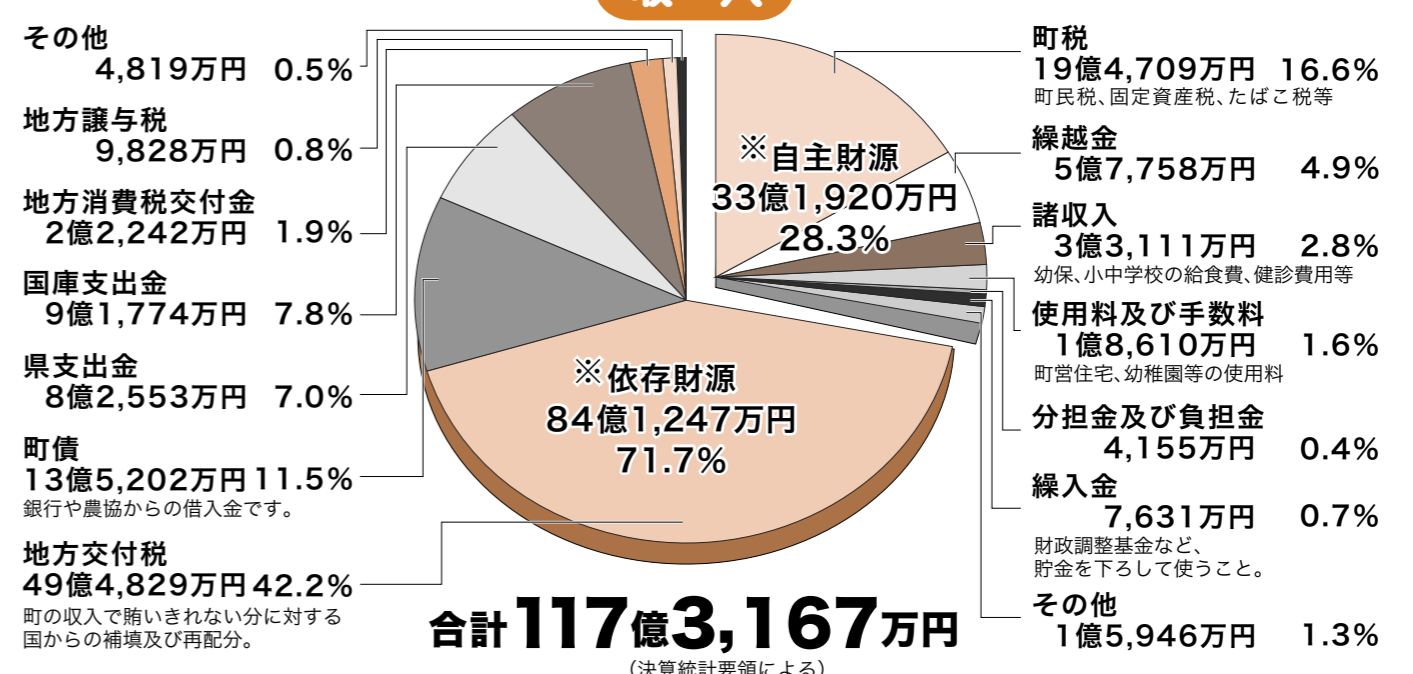
国民健康保険	24億2千159万円
後期高齢者医療保険	2億2千512万円
介護保険	24億9千767万円
簡易水道事業	1千716万円
農業集落排水事業	2億5千494万円
下水道事業	7億8千486万円
風力発電事業	5千994万円
水道事業（決算報告書収益的支出）	7億3千342万円
ガス事業（決算報告書収益的支出）	5億3千243万円

※水道及びガス事業は税抜き。

支出



収入



※ 投資的経費：施設など、財産として将来に残るものにかかる経費をいう。
 ※ 義務的経費：支出が義務付けられ、任意に節減できない経費をいう。

※ 自主財源：町が自主的に収入する財源をいう。
 ※ 依存財源：国や県から定められた額を収入する財源をいう。



行政区長の負担を減らせ

吉宮 茂委員

問 選挙費用の不用額の要因は

答 庄内町議会議員選挙費用の不用額は、252万円位である。この要因は何か。

答 立候補予定者を22人予定していたが18人だったことと、開票システム改善が要因である。

選挙投票時間を検討せよ

問 選挙事務の軽減を図るため、投票時間を午前7時から午後6時までとしてはどうか。

答 今後検討していきたい。

決算特別委員会

平成26年度の一般会計決算と9件の特別会計決算を9月8、9、10日の3日間で審査し原案どおり認定しました。



委員長 齋藤 健一
副委員長 上野 幸美

決算特別委員会では

予算が適正に執行されたか審査し行政効果や経済効果を精査します。

個人宛封書の郵送化図れ

問 行政区長の負担を減らすためにも個人宛封書の郵送化を増やすべきでないか。

答 区長の負担を減らすためにも個人宛封書の郵送化を増やすべきでないか。個人宛封書の精査を含め、検討したい。

集落要望実現せよ

問 町道改良費に1千100万円弱の不用額が出ているが、集落要望事項の一つくらい実現できなかったのか。

答 予算の仕組上簡単にはできない。

基金運用で成果を

問 これまで500万円前後で推移していた利子及び配当金が、大幅に増額し1千655万円の収入額となった。要因は何か。

答 基金を合算して大口にし、預入期間を2年にし、債券を購入したことなど。要因は何か。

財務

小林 清悟委員

虐待

問 集落要望は大部分に考えている。優先順位の上位3〜5番目くらいまで概算予算を提示し、対応を検討してみたい。

実現に新手順を

問 集落要望の達成期限が明確でなく、優先順位に不満というより不安を感じる行政区長も多い。この要望を予算規模別に仕訳するなど、実現可能順位も検討し、きめ細かい対応が必要ではないか。

補助金・交付金を精査せよ

問 予算全般にわたって19節の負担金、補助金及び交付金で多額の不用額を出している。3年さかのぼって精査しても、毎年多額に残す19節が数多く見受けられる。その積算が甘かったのではないか。ここを確かな積算をすることで、遅々として進まない集落要望事業を一つでも実現できたのではないか。

答 現年度予算が余れば次年度財源となり無駄にならない。

小野 一晴委員

答 普通交付税が予定以上に交付され、補助金対応があり、ふるさと応援寄附金が増額したことなど。

石川 武利委員

問 全国的に高齢者の虐待が多くなっている。その大きな要因は介護疲労となっている。介助者への支援策はどうなっているのか。

答 介助者に休息を与えるようなリフレッシュ支援の実施をしている。

鎌田 準一委員

問 集落要望の達成期限が明確でなく、優先順位に不満というより不安を感じる行政区長も多い。この要望を予算規模別に仕訳するなど、実現可能順位も検討し、きめ細かい対応が必要ではないか。

子どもたちの虐待対応大丈夫か

問 子どもたちの虐待件数、虐待通告数は毎年増加している。対応はどうか。

答 子どもたちの虐待件数、虐待通告数は毎年増加している。対応はどうか。実務者会議を開催し、見守っている。

問 町の24時間受け付け窓口はどの体制は図られているのか。

答 体制は図られている。

押切のり子委員

問 臨時財政対策債は、発行可能額にかかると理論償還額が算入されるので全額発行しなくても交付税措置は変わらないことから、地方債である発行額を見直す必要があるのではないか。

答 臨時財政対策債は、発行可能額にかかると理論償還額が算入されるので全額発行しなくても交付税措置は変わらないこと、地方債である発行額を見直す必要があるのではないか。財源確保と理解いただきたい。

村上 順一委員

問 経常収支比率90.8%で2.8%悪化していることから公債費の年々増加傾向が続くと思われる。操出金の抑制、地方債の借換えと繰上げ償還など利率の見直しで利率の抑制、更なる収納率の向上を図る必要があるのではないか。

答 経常収支比率は、発行可能額にかかると理論償還額が算入されるので全額発行しなくても交付税措置は変わらないこと、地方債である発行額を見直す必要があるのではないか。

ふるさと応援寄附金 選択肢が拡大

*理論償還額 実際の借入額に基づいた元利償還金額を指す。実際償還額とは異なり、臨時財政対策債発行可能額を元に算出した額を言い、借入額を問わずその全額が交付税措置される。



「安ければいいな」利用者の声 新産業創造館

商工

町湯
風車村
新産業創造館
etc

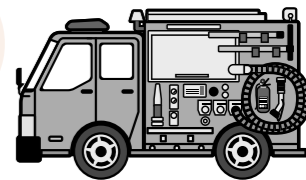
問 6次産業を取り組む人には、新産業創造館の共同利用加工場の使用料は高いのではないかと聞いている。

答 共同利用加工場の使用料安くせよ

問 押切のり子委員



防災



報知器設置 転ばぬ先の杖となれ

問 26年度の火災報知機の設置率はどのくらいか。

答 設置率は83.3%である。消防団は、設置率を上げるため集落と消防団が一緒に取り組んでほしい。

問 火災報知器設置率向上を

工藤 範子委員

問 3カ月前の顧客が計画に達しなかった。

答 町湯の開業が3カ月前遅れたこと、クラッセの利用客が計画に達しなかった。

問 イグゼあまるの経営陣は無報酬であり、本来の会社経営と思えない。経営トップを町雇用で派遣するなどできないか。

答 第三セクターだが、どんな支援が可能か検討したい。

問 4ブースの分割等、利用方法の検討を聞けないか。

答 これから検討して行きたい。

問 五十嵐啓一委員

経営改善を図れ

問 昨年イグゼあまるの新規事業運営に、900万円出資したが、平成26年度は赤字決算となった。その要因は何か。

問 消防軽積載車の利点生かせ

答 消防軽積載車は、更新計画に基づき更新している。常備消防の完備や小回り可能な軽積載車の利点を再認識して、自動車からの更新配置を検討すべきでないか。

問 現場の適切配置について検討して行く。

農林水産業



問 農業振興には産地交付金が欠かせない。決算報告は関係ないとされているが、きびしい農業環境を把握し、よりよい振興に結びつけるため、毎年、結果報告をすべきでないか。

答 農業振興を計画するうえで必ずと考える検討する。

上野 幸美委員

産地交付金を決算報告せよ

齋藤 秀紀委員

問 町でツイッターのアカウントを取得しているが、ほとんどが行事内容の告知である。それよりもフェイスブックの方が機能を生かせるのではないか。

答 10月のHPリニューアル時に効果を考慮し検討する。

フェイスクック 効果検討せよ

問 既に立地した企業も含め何度か訪問している。情報を共有しながら努力すべきでないか。

答 既に立地した企業も含め何度か訪問している。情報を共有しながら努力する。

問 決算額に対して諸団体への負担金が多くなっている。この状況で企業訪問ができるのか。企業誘致にもっと本腰を入れるべきでないか。

答 既に立地した企業も含め何度か訪問している。情報を共有しながら努力する。

積極的に企業誘致せよ

國分 浩実委員

問 淡水魚養殖施設管理事業は、平成26年7月よりやまぶどうの会に委託された。現状をどう総括しているのか。

答 養殖技術の習得を第一に、出

増産体制を図れ

石川 武利委員

問 関係機関と協議し、今後のあり方を検討したい。

答 関係機関と協議し、今後のあり方を検討したい。

上野 幸美委員

費用対効果を考えよ

問 堆肥生産センター管理運営事

問 「町湯」の入場者数は、一日平均何人か。健康講話等のイベントは開催したのか。

答 入場者数は、一日平均280人、300人である。保健福祉課による血圧測定を参加者11人で一回開催した。健康講話等は実施していない。

工藤 範子委員

入場者数を増やせ



子どもたちの安全が優先 風車村広場

問 風車村子ども広場には、万が一に備えた看板がない。責任は保護者にあるが、事故の応急処置も、事故の応急処置も、連絡先等はわかりやすい場所に設置すべきでないか。

答 場所を精査し対応を検討する。

「万が一に」備えよ

齋藤 秀紀委員



楽しく稲刈り、美味しさ倍増

荷数の増加、販売拡大に向けて備えている。

業は、施設の老朽化により例年多額の改修費がかかっている。現在の生産可能量、堆肥販売額等費用対効果を考え、今後どう対応するのか。

上野 幸美委員

費用対効果を考えよ

問 関係機関と協議し、今後のあり方を検討したい。

答 関係機関と協議し、今後のあり方を検討したい。

※1 ツイッター 140文字以内の単文投稿するウェブ上のサービスです。
※2 フェイスブック インターネットを使った個人・団体の機関紙等の一部です。無料で発信されています。

ズバリ町政を問う



秋の収穫 農作業の下で秋晴れ

9月3・4・7日の3日間にわたり12人が質問しました。

初日の工藤範子議員の質問に町長から「指名競争入札に関して・町長や副町長の不正な関与を疑わせる文書をマスコミに配布した。」

・町は配布した文書の提供を求めたが、内容の異なるものが提出された。

このことは看過（見すごす）できない」との発言があった。工藤議員はその後の質問を辞退した。

また、このことについて、議会は町議会議員条例に基づく「議員政治倫理審査会」を初めて設置した。（P17 関連記事）

政治倫理審査会の議事録は議会HPで後日公開する予定です。

- 押切のり子 嘱託職員の待遇改善について
「庄内町集会所施設整備事業補助金」の交付事務について
- 工藤 範子 政治姿勢について
子育て支援医療制度について
入札について
指定管理者制度について
- 上野 幸美 響ホールの指定管理者制度導入について
防災行政無線の運用について
寡婦控除のみなし適用について
- 國分 浩実 町営バス（幹線路線、循環路線、デマンドタクシーを含む）の運用について
庄内総合高校支援について
役場本庁舎整備について
- 齋藤 秀紀 庄内総合高校の存続運動について
林業振興について
- 吉宮 茂 庄内町元気で長寿お祝い条例について
18歳選挙権に伴う啓発活動について
非正規職員経費の物件費扱いについて
- 鎌田 準一 民俗芸能保存伝承協議会について
「庄内町景観条例」（仮称）の策定について
- 石川 武利 高齢化する集落の今後について
- 五十嵐啓一 空き家の適正管理について
役場本庁舎建設について
町の駐車場管理について
- 齋藤 健一 宮城県南三陸町への復興支援とふるさと納税について
- 小野 一晴 消防署立川分署改築工事の入札について
大型事業の計画について
水田の転作確認について

（太字の質問は、概略を掲載）

産休・育休制度

すみやかに周知を図れ

町長

周知徹底を図る



議員 押切のり子

問 産休・育休制度は、法的・人道的に、嘱託職員にも当然認められている。

町でもこれらの休暇は制度化されていると説明している。しかし、現場で働いている非正規職員に対し、一度も周知していないのは、制度が整備されていないとは言えないのではないか。

町長 嘱託職員等非正規職員の産前産後休暇の取得は、休暇日数に応じて代替分の臨時職員の賃金を予

算計上して対応している。育児休業に関しては、本人の希望があり取得要件に合致すれば取得が可能になっている。

問 子どもを産むことに不安を持っている職員が多いこと

とから、すみやかに周知を図り、安心して「産み・育てる」ことができるよう環境の整備を図るべきでないか。

町長 雇用条件は採用時に要綱に沿って説明をしているが、今まで以上に産前産後休暇や育児休業の制度の周知徹底を図りながら、安心して産み育てられる環境づくり努めたい。



産休・育休に立場の違いなし

安保安法

首長としての見解を

町長

見解は控えたい



議員 工藤 範子

問 今国会で議論が交わされている「安全保障関連法案」は戦争法案と言われている。

世論調査では、80%以上が説明不十分、65%以上が国会の成立に反対と答えている。

憲法9条を持つ国として、未来のある若者の命を奪う法案である。この70年間日本国憲法によって、他の国へ攻めて行ったり、他の国の人を殺すことをしなかったのである。日本とアメリカが一緒に戦

争する国に変えてしまふ法案に、首長としてどう考えているのか。

町長 安全保障関連法案にこの場で私が申し上げることは差し控えたい。しかし、戦後70年という節目の年を迎え、唯一の被爆

国であり、不幸な争いがあったことは事実である。

こうした戦争は2度と起こさないことが基本であり、日本の役目として、平和をどのように維持していくかを大原則として考えていくのが当然だと思っている。平和を維持できるか、政治的な判断を行っていくことが大事だと考えている。



どう考える 安全保障関連法案

※CM方式とは、建設生産・管理システムの一つ。発注者の補助者・代行者が技術的な中立性を保ちつつ発注者側に立ち、設計・工事等のマネジメント業務を行い発注者の利益を最大化するもの。

響ホール
指定管理者制度導入
大丈夫か

町長 意思疎通を図っている



上野 幸美 議員

問 平成28年度4月から制度導入の見通しだが、受け手の響ホール事業推進協議会の組織体制、委員の合意形成はなされているのか。

町長 響ホール事業推進協議会は、開館以来、自主事業、支援事業、育成事業を実施し、町民主導の企画運営をしている。指定管理者制度の導入は総会や合同懇談会で、委員相互の意思疎通が図られている。

問 NPO法人等、法人格で運営している他の自治体もある。職員雇用、税制上等みなし法人のまままで問題ないのか。

町長 法人が黒字になった場合は、鶴岡税務署と協議している。法人格取得は議論したが、現体制で進めていく結論になった。各種団体推薦2人はあて職組織である。多額の運営資金を預かる責任の明確化は図られるのか。若い人を入れるなど委員の刷新を図るべき

問 2人はあて職組織である。多額の運営資金を預かる責任の明確化は図られるのか。若い人を入れるなど委員の刷新を図るべき

町長 事業の責任は会長にある。理事事に運営部門と企画部門を設けて専門的に考え、組織強化を図っていく。



無人で接客できるの 響ホール受付

町営バス
見やすいよう改善せよ

町長 改善し、対処したい



國分 浩実 議員

問 高齢者の方から、町営バスを利用しにくいとの声を聞いている。その理由として、時刻表の見にくさ、停留所等に路線図の表示が無いことが挙げられる。停留所には時刻表の掲示が無いケースもある。早急に改善すべきではないか。利用者拡大の観点から、観光利用もPRするためには、町HPで運行時刻、路線が容易に見られることが必要である。見られない現状はすぐに改めるべき

町長 これから公共交通ネットワーク調査業務を委託する。これには広域的な利用も含めて新たな路線や町内の資源を有効活用するための路線も含まれている。町外から来る観光客にも分かりやすく利用しやすいバス停になり、案内サインも含めて、この調査のなかで検討し、対処したい。

ホームページについては、内容の改正、修正を検討し、町営バス・デマンドタクシーの情報がすぐ開けるように改善したいと考えている。



時刻表すら無い バス停

本庁舎
整備の考え方は何か

町長 総合的に判断する



齋藤 秀紀 議員

問 役場本庁舎整備の考え方は、規模、予算は、将来人口、職員を何年後と想定しているのか。

町長 本庁舎整備検討会議の調査検討を踏まえ、防災拠点として機能する庁舎と考えている。規模は人口、職員数の減少等も含め、総合的な検討のなかで考えたい。

問 立川庁舎、支所はどう対応するのか。

町長 立川支所の機能と活用方法は



町民のためになる新庁舎を

問 基本計画のなかで検討する。配置計画も併せて検討していく。

町長 外部団体を入れての施設整備は、早めの判断が必要ではないか。

町長 外部団体との同居は機能の連携を図り、トータル的に

問 なデザインを考えていく必要がある。

町長 ※CM方式は、コスト削減と工期短縮等、かなりのメリットがある。また、デメリットもあり、周知等も含め、どう進めるのか。

町長 CM業務はメリットを調査して、どの程度CM業務を取り入れるか、総合的に判断したい。

庄内総合高校
どうする入学者拡大

町長 学校の魅力が一番の問題



吉宮 茂 議員

問 特定の公立高校の支援は格差がある。その意義と共通認識向上のため啓発をどう進めるのか。

町長 庄内総合高校の存在が町にどのような効果、価値を生み出しているか、広報活動も含めて強調していく必要がある。

問 同校への進学希望者拡大運動に伴う課題は何か。

町長 学校全体の魅力や特色をどうするかが一番の問題で

問 ある。すぐできること、中長期的に方向性を捉えることとの整理が必要と考えている。

町長 県教育委員会では、県立高校への入試制度を改善するため検討委員会を設置した。報道によると、県外志願者の受入枠の

町長 県教育委員会では高校入試、入学選抜のあり方について検討を始めている。特色ある学校づくりを推進することが狙いの一つにある。この検討委員会の協議等を注視していく必要がある。



地域で活躍する庄総生

ここが聞きたい

齋藤秀紀議員・吉宮茂議員

12人の提言

上野幸美議員・國分浩実議員

長寿祝い
条例

全員に贈呈せよ

町長

他町村条例を考慮したい



澁谷 勇悦 議員

問

米寿・白寿の賀詞及び祝い品は、6月1日を贈呈基準としているため、この前に亡くなる等した場合、1月1日に米寿等になったのにもならないことになっている。今年8人の方がもらえなかったが、数え年と標榜している条例としてはいかがか。

米寿・白寿の賀詞及び祝い品の贈呈は、高齢者のつどいが6月に開催されたことにより、基準日を6月1日としていた。100歳も同じ基準を適用するため、先の3月議会で改正した。この事業は、6月1

町長

米寿・白寿の研究し、しかるべき時期まで評価、検証しながら、今後の事業運営をしていきたい。

日にご存命の方に、「これからも長生きしてください」ということで、差し上げているのが趣旨である。

他の市町村の事例も



おじいちゃん、長生きしてね

地域
伝統芸能

一步踏み出せ人材育成

教育長

環境整備に努める



鎌田 準一 議員

問

町の定める無形民俗文化財の2団体だけでなく、各地域での伝統行事における後継者育成は大きな課題となっている。民俗芸能保存伝承協議会の定める意義と目的、補助金要綱だけでの問題に思えられないか。

また、後世に伝えるために映像記録を保存し、活用しやすい環境整備に努めたい。広く地域全体で営まれる祭事を伝統芸能と捉え、協議会のしくみを精査する。人材育成は保存会の代表や行政区長、実

教育長

民俗文化財は地域に根差した信仰や風俗を継承してきたものである。保存会単独では民俗芸能活動を維持できない。それらを取り巻く支持基盤は、地域や集落のコミュニティだと思っている。



後継者不足で大変なんです

集落
再生・再編

再編に取り組み

町長

広域的仕組みも必要



石川 武利 議員

問

多様な文化を育んできた集落が人口減少や高齢化が進み、集落機能の低下による維持・継続が危ぶまれる状況が拡大している。

再編に取り組みべきと思うがどうか。本町全体として高齢化率は32.8%になった。少子、超高齢、人口減少にはこれまで取り組んできた。そのなかで集落が果たす役割を考えるとが必要である。

一つの集落で対応できないならば、広域的に支え合う仕組みが必要になってくる。具体的に、その地域、地区、集落ごとに課題を抽出し、その課題の解決をどのようにするか、逆にそれぞれの地域、地区、集落ごとに判断できる仕組みを考えていく時代になってきている。

空き家
問題

問題解決を図れ

町長

まだ整理はできていない



五十嵐啓一 議員

問

空き家問題は全国的な課題である。市街地にある老朽化した危険な空き家の解決のため、所有者から寄附を受け、町で解体して町外からの移住者や、若者世帯に販売できないか。

町が、所有者と不動産事業者の仲介を行い、解体後の跡地の再利用を行えないか。所有者の実情や要望を聞き取り、不動産業者との間を取り持つことは可能と思う。民間活用を図

所有者が遠隔地にいる空き家の場合、簡易な補修で、危険な空き家の発生を防止できる。町で一時立て替えて補修することはできないか。町で一時立て替えて補修することは、個人所有の財産であり、相当な状況判断が必要と思う。

コミュニティの維持・活性化が強く求められる。一方、担い手不足をはじめ、従来の考え方ややり方では対応できない課題に直面している。暮らしの安心を支えるための一つの手段として、新たな「集落のかたち」を考え、再生、



押し寄せる少子高齢化の波

町が空き家、空き地の所有者から寄附を受けて、その活用方法を考えるかは、確定もできない。そうした整理はまだまだできていない。



古い空き家もカフェに変身 福井県越前町

ふるさと応援寄附金

返礼品の多様化せよ

町長

来年度に向け考える



齋藤 健一 議員

問 平成27年度ふるさと応援寄附金は2億円を見込んで

いる。約半分は返礼品として特産物の米を主体にお返ししている。友好町である南三陸町への復興支援として、同町の特産である海産物を返礼品に取り入れる考えはないか。また、庄内町の食事利用券と、故郷の墓を守ることに困難な方もあることから墓掃除サービスを、取り入れる考えはないか。

町長 友好町の復興を支援するために、南三陸町の海産物を本町のふるさと応援寄附金の返礼品に取り入れた。1年間を通じて提供できる品を選定し、9月から申し込みを開始している。食事券のみならず買

物券もあるが、還元できるかどうかは国の制度でまだ整理されていない。どこまで可能か来年度に向け考えていく必要がある。墓掃除のアイデアなどは、形を変えた地方創生の知恵比べになっている。適切で十分に可能であり、継続してやれるか検討したい。



友好町に寄り添う

入札

事実を語るべきだ

町長

勝手に答えられない



小野 一晴 議員

問 消防署立川分署の入札で、一度不調宣言した後に、1回目の入札で落札させたという事は、どういうことか。

町長 この入札に関しては酒田地区広域行政組合議員である工藤範子議員から7月6日付け文書で本職宛に申し入れがあり、詳しく答えている。その内容は本定例会の工藤議員の一般質問時に全員に配布している。この文章では、事実が見え

町長 てこない。この入札は、広域組合から委託され、町の予算で議会が認め、町の責任において行ったものはず、詳細に説明すべきだ。この件はあくまでも酒田地区広域行政組合の事業であり、当該組合議会の

町長 判断が優先される。町議会で、町の一議員が口を挟むことではない。そうやって立場の違いを楯に事実を語ろうとしないから誤解が生じる。町の信用のためにも答えるべきでないか。町で委託を受け、依頼主の許可なしでは勝手に答えられない。



入札は厳正であるべき

工藤範子議員の行為に対して 政治倫理審査会 設置

不正があったとの疑惑を招く表現 政治倫理に抵触すると判断

なにが問題なのか

工藤範子議員が、町が行った指名競争入札に関して、「業者に結論を押し付けた」「町長が予定価格を改ざんしたと推察される」と書いた文書を報道機関に提供したこと、その後町側が文書の開示を請求した際、事実と異なるものを提出したこと、政治倫理基準に抵触していないか審査することとなった。

審査会の判断

議員は事実を明確にする機会があったにもかかわらず、私見を交えた内容を文書で情報提供した。十分に事実確認しない段階で町当局に不正があったとの疑惑を招く表現があった。マスコミに情報提供した資料の開示を町から求められた際、事実と異なるものを示した件については、議会全体に対する町当局の不信感を増幅し信頼を損ねた。以上のことから、庄内町議会議員政治倫理条例第3条第1項第1号「議会に対する町民の信頼を損なう

行為をしないこと」に抵触すると、審査会委員全員が一致した。

今後どうなるのか

議長は当該議員に内容を文書で通知する。議員は文書を受け取った日から14日以内に、審査の結果に対する弁明書を提出することができる。議長は審査の結果を受け、議会運営委員会に諮り処分を決定する。議長は処分を決定したときは、その趣旨を庄内町議会広報紙および庄内町議会ホームページに掲載し公表するものとする。

総合計画 特別委員会で審査

第2次総合計画（平成28年37年）が9月定例会に議案提出された。基本計画は全6章から構成される。

議会は審査特別委員会を設置し、2つの分科会を立ち上げた。1・2・6章を第1分科会で、3・4・5章を第2分科会で調査することとした。分科会では担当課から聞き取りをし、調査内容をまとめ12月定例会まで報告する。



町の未来を展望

愛称 「庄内町みんなの未来計画」

理念 挑戦 参画・協働 公益

重点構想

- 1. 産業活力
2. 子育て教育
3. 健康長寿
4. 安全・安心
5. 環境共生



基本計画

- 第1章 健やかでやさしい健康・福祉のまち
第2章 よりよい生き方を求め、ともに学び合う教育のまち
第3章 美しく安全・安心な生活環境のまち
第4章 豊かで活力に満ちた産業のまち
第5章 未来へ基盤が整ったまち
第6章 みんなでつくり自立したまち

より良い町づくりのために

生かせ提言

産業建設 常任委員会

テーマ 風車村一帯の振興策

調査目的 風車村一帯には、まちの施設等が散在している。これらの魅力づくりの施策は、狩川地区の振興につながることから調査することとした。

農林漁業体験実習館
3階の天体観測室は、観測機器が老朽化していることもあり、撤去することも含め検討すべきである。
古民家的特徴を生か

風車村センター

施設内展示物自然エネルギー等に特化すべきである。
風車村周辺一帯をつなげた遊歩道整備をすべきである。

提言しました(抜粋)

- 調査した施設**
- ① 風車村センター
 - ② 農林漁業体験実習館
 - ③ シンボル風車
 - ④ 子供広場
 - ⑤ ラベンダー畑と体験農園
 - ⑥ 楯山公園
 - ⑦ 歴史民俗資料館
 - ⑧ 二俣農村公園 (ほたるの里)

周辺施設の現地調査

建物だけでなく室内の展示物や、施設の利用状況等、特にシンボル風車のブレードの撤去、二俣農村公園水生植物ゾーンの様相の変化、楯山公園からの眺望の妨げを調査した。

シンボル風車
民間の風力発電事業の動向を注視し、シンボルとしての風車の設置を検討すべきである。
子ども広場
冬期間は、地形を活用し雪原で遊べるようにすべきである。

ラベンダー畑、体験農園、芝生広場

花の植栽で一定期間花で人を呼べる憩いの場としての環境づくりをすべきである。

楯山公園

眺望の妨げになっている立木は、間伐や木の上を摘めるなどすべきである。

歴史民俗資料館

来館者の減少、展示物の重複等、老朽化も



魅力がいっぱい

総務文教厚生 常任委員会

テーマ 遊休財産の有効な活用

調査目的 町が保有する土地の普通財産（公の目的に使われていない公有財産）の整理と有効活用について調査することとした。

普通財産の現況

町有財産における普通財産96件について調査し、うち遊休財産と判断されるものが32件あった。
普通財産の多くは無償で貸し付けられている場合も多いが、未利用の土地も見受けられ

提言しました(抜粋)

また台帳による現地確認が困難な地名や名称もあり調査に手間取った。
結果、売却が可能かあるいは有効活用すべきかを提言した。

売却

小出新田の小出沼用地をはじめ売却可能な土地が12件ある。
徹底した情報公開をし売却に努めるべきである。

台帳整理

調査の結果、場所と表記が一致しないものが複数件あった。特に飛地に関しては確認が困難なものがあり、精度の高い台帳にすべきである。具体例として

際には利用されていない物件もあった。調査すべきである。

は立川地区の千本杉、本村割墓地と一体化した土地である。
現地を特定しにくい土地に関しては地図表記にするなど、正確な管理が必要である。
また、全体は普通財産としながら一部を個人に貸し付けている土地もあり、正確な台帳とすべきである。

なお、立川中学校セミナーハウスに関しては将来のための有効活用を検討すべきである。



有効活用を期待する

月屋敷地内